



山野彰さん

(76歳・東池尻)

「出会い」と「つながり」を大切に。石ころアートで地域や年代を超えた交流を行っています。子ども笑顔が私の元気の源です。

石ころの形や色の特徴を生かして、絵の具で動物などの絵を描く「石ころアート」の作品を生み出し続けている山野彰さん。長年、大阪市内で勤めていた教職員を退職後、青少年指導員や地区の役員を務め、現在も行政書士として活動しています。

作品を飾るだけでなく、たくさんの人を集めてアートを楽しむために、山野さんが約10年前に開設したギャラリーには、石ころが、猿やパンダ、フクロウといったかわい動物に大変身した作品がズラリと並んでいます。

「約25年前に石ころアートに出会って以来、個展を開催したり、ギャラリーに集まった人たちと一緒に楽しみながら作品をつくっています。石ころを探しながら、どんな動物が描けるだろうかと想像して散歩することもあり、気軽に挑戦しやすい身近なアートであることが大きな魅力です」

山野さんに健康の秘訣を伺うと、

「人との出会いが健康の秘訣です。石ころアートをしていることでたくさんの人たちとの縁があり、一緒に楽しむことが幸せです」東日本大震災の原発事故で、農作物への風評被害があった福島県を訪れて、復興支援のため、日本大学農学部で学生らと、4メートルほどの大きな岩に動物のイラストを描いたこともあり、地域や年代を超えた交流を行い、まちづくりに貢献しています。

「最近、徳島県勝浦町で、私が今までに描いたことがない恐竜の絵を石に描いてほしいと依頼があったので、図鑑を見ながら、恐竜の絵を描く練習がしたいです。これからも、石ころアートをはじめとした自分が持っているものを、たくさんの人に楽しんでもらえるようなつながりをつくっていききたいと考えています」

これまでの出会いでつながった人や子どもたちと一緒に石ころアートを楽しむことが山野さんの原動力。

「子どもの笑顔を見ると元気が出ます。今後も、石ころアートや様々な活動を通じて、子どもたちが元気に育つまちにと展望を描いています」

高齢者防火訪問を実施します

堺市消防局では、高齢者が安全に安心して暮らせるよう、住宅用火災警報器の設置・維持管理の促進や、こんろ、たばこ、電気火災などに対する住宅防火対策について指導しています。

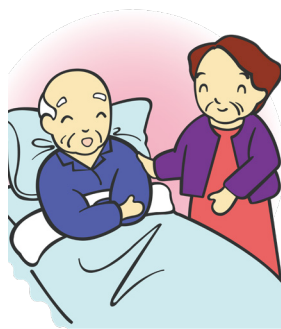
75・79・83・87・91・95歳および99歳以上(令和6年3月31日時点)の高齢者が住んでいる世帯を対象に、防火訪問を行います。訪問の

際は、必ず消防手帳などの身分証を携帯しています。不審な電話や訪問などで個人情報をお話したり、むやみに署名しないでください。

また、不在時にポスティングする住宅防火のチェックシート表などを活用し、危険なところは早急に改善してください。

問い合わせ 堺市消防局予防査察課 ☎ 238-6005

ひとり暮らしや寝たきりの高齢者の自宅を民生委員が訪問します



ひとり暮らしや寝たきりの高齢者の自宅を訪問します。

訪問したときに、災害など緊急時の関係機関との連携を図る基礎資料として、「ひとり暮らし・寝たきり高齢者台帳」の作成をお願いしています。訪問へのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ 高齢者福祉グループ ☎ 349-9416

6月から、民生委員が担当区域内の見守り活動や、地域の困りごとの相談などを目的に、ひ

福祉センター閉館日

さやま荘/9日(日)
さつき荘/8日(土)・9日(日)・22日(土)・23日(日)・30日(日)